

開講科目名 / Course	教育課程論 / Curriculum Studies
時間割コード / Course Code	VED1006
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester
曜限 / Day, Period	金 / Fri. 6
開講区分 / semester offered	3学期 / 3Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、板倉 浩幸 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、谷萩 真樹 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、山本 理 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。
到達基準 / Standard	全体目標：学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。 (1) 教育課程の意義 一般目標：学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 到達目標： 1) 学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。 2) 学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。 3) 教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。 (2) 教育課程の編成の方法 一般目標：教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 到達目標： 1) 教育課程編成の基本原則を理解している。 2) 教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。 3) 単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。 (3) カリキュラム・マネジメント 一般目標：教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。 到達目標： 1) 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。 2) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。

授業内容 / Schedule	下記の日程は変更される可能性があります。必ずR7教育課程論（農）クラスルームgjf4p6aを確認してください。 【授業日程と内容】 第1回 工10/2 農10/3 シラバス説明及びテキスト紹介、発表分担決め等 第2回 工10/9 農10/10 教職コアカリ演習1 第3回 工10/16 農10/17 教職コアカリ演習2 第4回 工10/23 農10/24 教職コアカリ演習3 第5回 工10/30 農10/31 教科書討議1 < ZOOM > 第6回 工11/6 農11/7 教科書討議2 < ZOOM > 第7回 工11/13 農11/21 教科書討議3 < ZOOM > 第8回 工11/20 農11/28 教科書討議4 < ZOOM > 第9回 工11/27 農12/5 教科書討議5 < ZOOM > 第10回 工12/4 農12/12 教科書討議6 < ZOOM > 第11回 工12/11 農12/19 ミニ授業WS1 第12回 工12/18 農1/9 ミニ授業WS2 第13回 工1/8 農1/16 ミニ授業WS3 第14回 工1/15 農1/30 ミニ授業WS4 第15回 工1/22 農2/6 ミニ授業WS5 自然体験 期間： R7年10月～11月を予定 場所： みのり保育園 府中市幸町3 - 3 - 46 内容： 自然散策、自然あそび 園児： みのり保育園・田中保育所・きなり保育園の年中・年長児 人数： 児童 5～10名、学生 3～7名、職員 3～5名 【教科書と教職コアカリキュラムの対応表】 （１）教育課程の意義 序章、第１章、第２章 （２）教育課程の編成の方法 第３章、第４章、補章１、第５章 （３）カリキュラム・マネジメント 第６章、第７章、補章 第、８章、第９章
履修条件・関連項目 / Requirements	教員免許取得を目指していることが履修の要件です。
テキスト・教科書 / Text book	テキスト『教育の課程と方法―持続可能で包摂的な未来のために―』 「ESDでひらく未来」シリーズ 鈴木敏正・降旗信一編著
参考書 / Reference book	参考書・参考資料等 日本国憲法、教育基本法、教育振興基本計画、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

成績評価の方法 / Grading	以下の各レポートの総合評価(農学部工学部ともに400点満点)で90%以上がS, 80%以上がA、70%以上がB、60%以上がC, 60点未満がD(不合格)となります。なお、出席率が8割を切ると欠席の回数に応じて評価が下がります。(出席率6割を切ると単位の取得が危うくなりますので十分ご注意ください。)またきわめて高い授業への貢献を行った方には特別加算があります。 (1) 事後学習課題(配分150点) 毎回の授業で教員が課題を1つ出しますので、その課題を次回の授業時に提出していただきます。分量はA5横で文字数は自由です。このレポートは毎回10点満点で評価します。提出期間は7日前から3日前まで。提出期間以外に提出されたレポートの評価はできませんのでご注意ください。 (2) 教科書レポート A4で2ページ以内(配分100点) (3) ミニ授業・指導案レポートA4で1ページ以内(配分100点) (4) ミニ授業・実施レポートレポート(配分100点)
教員から一言 / Something	私の授業では、「農工大らしい教員の養成」を目指しています。 「農工大らしい」とは、 1. 研究力が高い。(皆さんは全国有数の研究拠点大学で学ぶ教職履修学生です。) 2. 児童・生徒の認知スキルを高める方法だけでなく、非認知スキルを高める方法(ESD塾体験活動プログラムの指導法)も知っている。 3. 教育に関わる地域の課題、児童・生徒が直面している課題の解決に教職履修学生の立場から貢献しようという姿勢をもっており、実践もしている。 と考えています。
キーワード / Keyword	教育課程、カリキュラムマネジメント、地域教育資源調査
オフィスアワー / Office Hours	必用に応じて個別に設定しますので必ず教員に事前にアポをとってください。メールアドレス: sfuri@tuat.ac.jpまたはsfurihat@gmail.com
備考1 / Note 1	
備考2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	http://tuatkyoshoku.jp
開講言語 / Teaching language	
語学学習科目 / Language study subjects	

開講科目名 / Course	教育課程論 / Curriculum Studies
時間割コード / Course Code	V0203
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester
曜限 / Day, Period	木 / Thu. 6
開講区分 / semester offered	3学期 / 3Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	L1321 / L1321
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、岡 健吾 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、田中 住幸 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。
到達基準 / Standard	全体目標：学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。 (1) 教育課程の意義 一般目標：学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 到達目標： 1) 学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。 2) 学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。 3) 教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。 (2) 教育課程の編成の方法 一般目標：教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 到達目標： 1) 教育課程編成の基本原則を理解している。 2) 教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。 3) 単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。 (3) カリキュラム・マネジメント 一般目標：教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。 到達目標： 1) 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。 2) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。

授業内容 / Schedule	下記の日程は変更される可能性があります。必ずR7教育課程論（工）クラスルーム△asoqmluを確認してください。 【授業日程と内容】 第1回 工10/2 農10/3 シラバス説明及びテキスト紹介、発表分担決め等 第2回 工10/9 農10/10 教職コアカリ演習1 第3回 工10/16 農10/17 教職コアカリ演習2 第4回 工10/23 農10/24 教職コアカリ演習3 第5回 工10/30 農10/31 教科書討議1 < ZOOM > 第6回 工11/6 農11/7 教科書討議2 < ZOOM > 第7回 工11/13 農11/21 教科書討議3 < ZOOM > 第8回 工11/20 農11/28 教科書討議4 < ZOOM > 第9回 工11/27 農12/5 教科書討議5 < ZOOM > 第10回 工12/4 農12/12 教科書討議6 < ZOOM > 第11回 工12/11 農12/19 ミニ授業WS1 第12回 工12/18 農1/9 ミニ授業WS2 第13回 工1/8 農1/16 ミニ授業WS3 第14回 工1/15 農1/30 ミニ授業WS4 第15回 工1/22 農2/6 ミニ授業WS5 自然体験 期間： R7年10月～11月を予定 場所： みのり保育園 府中市幸町3 - 3 - 46 内容： 自然散策、自然あそび 園児： みのり保育園・田中保育所・きなり保育園の年中・年長児 人数： 児童 5～10名、学生 3～7名、職員 3～5名 【教科書と教職コアカリキュラムの対応表】 （１）教育課程の意義 序章、第１章、第２章 （２）教育課程の編成の方法 第３章、第４章、補章１、第５章 （３）カリキュラム・マネジメント 第６章、第７章、補章 第、８章、第９章
履修条件・関連項目 / Requirements	教員免許取得を目指していることが履修の要件です。
テキスト・教科書 / Text book	テキスト『教育の課程と方法―持続可能で包摂的な未来のために―』 「ESDでひらく未来」シリーズ 鈴木敏正・降旗信一編著
参考書 / Reference book	参考書・参考資料等 日本国憲法、教育基本法、教育振興基本計画、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

成績評価の方法 / Grading	以下の各レポートの総合評価(農学部工学部ともに400点満点)で90%以上がS, 80%以上がA、70%以上がB、60%以上がC, 60点未満がD(不合格)となります。なお、出席率が8割を切ると欠席の回数に応じて評価が下がります。(出席率6割を切ると単位の取得が危うくなりますので十分ご注意ください。)またきわめて高い授業への貢献を行った方には特別加算があります。 (1)事後学習課題(配分150点) 毎回の授業で教員が課題を1つ出しますので、その課題を次回の授業時に提出していただきます。分量はA5横で文字数は自由です。このレポートは毎回10点満点で評価します。提出期間は7日前から3日前まで。提出期間以外に提出されたレポートの評価はできませんのでご注意ください。 (2)教科書レポート A4で2ページ以内(配分100点) (3)ミニ授業・指導案レポートA4で1ページ以内(配分100点) (4)ミニ授業・実施レポートレポート(配分100点)
教員から一言 / Something	私の授業では、「農工大らしい教員の養成」を目指しています。 「農工大らしい」とは、 1.研究力が高い。(皆さんは全国有数の研究拠点大学で学ぶ教職履修学生です。) 2.児童・生徒の認知スキルを高める方法だけでなく、非認知スキルを高める方法(ESD塾体験活動プログラムの指導法)も知っている。 3.教育に関わる地域の課題、児童・生徒が直面している課題の解決に教職履修学生の立場から貢献しようという姿勢をもっており、実践もしている。 と考えています。
キーワード / Keyword	教育課程、カリキュラムマネジメント、地域教育資源調査
オフィスアワー / Office Hours	必用に応じて個別に設定しますので必ず教員に事前にアポをとってください。 メールアドレス : sfuri@tuat.ac.jpまたはsfurihat@gmail.com
備考1 / Note 1	
備考2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	http://tuatkyoshoku.jp
開講言語 / Teaching language	
語学学習科目 / Language study subjects	